

## 講座4 /

# 「記者が語る原子力取材の現場」

講師/北海道新聞記者 関口 裕士 氏

「原子力 負の遺産」(日本ジャーナリスト会議賞受賞) 担当記者

① 5月15日(木)  
「原子力 負の遺産」  
～核のごみをめぐって



【掘削中の幌延新地層研究センター】

② 5月29日(木)  
「フクシマはいま」  
～福島第1原発を取材して



【福島4号機で使用済み核燃料の取り出し】

各回 時間:10:30～12:00

福島原発事故は、日本全体に原発について考えさせる重大な契機となった。原発を再稼働したい人も、止めたい人も避けて通れないのが、核のごみ処理と放射能汚染の止まらない福島原発事故の収束問題。その解決の糸口をつかむべく取材を始めた記者の報告を聞く。

- ◆会場 花川北コミュニティセンター ◆定員 30人(応募多数時抽選)
  - ◆申込期間/4/15(火)～4/30(水) ※お電話でのお申し込みは平日にお願いします。
  - ◆受講料/ カレッジ会員 800円・一般 1,000円(全2回分)
  - ◆申込み・問合せ/ いしかり市民カレッジ運営委員会(石狩市公民館内)  
TEL/FAX: 0133-74-2249 メール: kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp
- ※この講座は、学びのスタンプ対象講座、道民カレッジ連携講座です。

